

日本タンポポと外来タンポポを探そう

時期 3～4月

時間 2時間

場所 校庭、地域

○身近に生育するタンポポ類を調査し、植物の生育と環境との関係について知る。

ねらい

- ・身近な植物であるタンポポにも、さまざまな種があることを知らせる。
- ・日本在来のタンポポと外来のタンポポに生育地や生育の仕方に違いがあることを知る。

教科に見る活用場面

- ・中学校 理科（第3学年） 「自然と人間」
- ・高等学校 理科（生物基礎） 「生物の多様性と生態系」
理科（生物） 「生物と環境」

活動の内容

- (1) 日本タンポポと外来タンポポとの違い（総苞外片の状態）を理解する。
- (2) 野外（校庭あるいは学校や自宅の周囲）に出て、タンポポを探し、総苞外片の状態を観察する。
- (3) 総苞外片の状態から、日本タンポポか外来タンポポか判断する。
（果実を観察して、セイヨウタンポポとアカミタンポポの区別が可能なときは、区別する）
- (4) ワークシートと地図に記録する。
- (5) 日本タンポポと外来タンポポ（セイヨウタンポポとアカミタンポポ）の生育地や生育の仕方にどのような違いがあるか考察する。

準備するもの
・ワークシート
・地図
・筆記用具

活用ガイド

○指導上の工夫・留意点

タンポポは、郊外の耕作地周辺から市街地、校庭にも生育しているので、どこでも実施することができるが、できるだけ多様な環境を含む地域で活動を行うと、さまざまな考察が展開できる。校庭でも除草や踏みつけが激しい所とそうでない所などを比較できるように、調査範囲の指定を行うと良い。

○タンポポの花のつくり

タンポポの「花」は、実際には一つの花ではなく、多くの花が集まってできた花序で、一見、一枚の花びらに見えるものが、それぞれ一つの花（舌状花）である。花序全体を包み、がくのように見える部分が「総苞」で、この外側の部分を「総苞外片」と言い、日本タンポポと外来タンポポを見分ける重要な部分である。

○活動場所や材料の情報

栃木県の平野部では、日本タンポポは3～4月にかけて、外来タンポポは厳冬期を除いてほぼ一年中開花する。基本的には両種が共に開花している3～4月にかけて調査するとよい。4～5月にかけては果実によって種を判別することも可能であり、結実期の観察により繁殖力の比較もできるので、発展的活動として利用することができる。

○協力が得られる機関

栃木県立博物館 Tel: 028-634-1311（代表）

○ワークシートの解答

外来タンポポは、開発などによって土壌がかく乱された場所に生育する。したがって市街地であっても、長期間かく乱の起きていない庭園や学校の校庭などには、日本タンポポが生育していることもある。外来タンポポが増えているのは、外来種による「侵略」が起きているのではなく、人間の活動によるものである。

○活動にあたって参考となる文献やWebサイト

タンポポ調査・西日本2010 「タンポポ調査・西日本2010」事務局

<http://www.nature.or.jp/Tampopo2010/Tampopo-index.html>

自然



日本タンポポと外来タンポポを探そう

実施日	年 月 日 ()	年 組 番	氏 名	
-----	-----------	-------	-----	--



○生徒用資料をもとに、タンポポを日本タンポポと外来タンポポ（セイヨウタンポポ，アカミタンポポ）に区別し，○で囲み，生育環境を記入しよう。

	種類	生育環境（草地，荒地，路傍など，乾湿や日当たりなども記すと良い）
1	日本・セイヨウ・アカミ	
2	日本・セイヨウ・アカミ	
3	日本・セイヨウ・アカミ	
4	日本・セイヨウ・アカミ	
5	日本・セイヨウ・アカミ	
6	日本・セイヨウ・アカミ	
7	日本・セイヨウ・アカミ	
8	日本・セイヨウ・アカミ	
9	日本・セイヨウ・アカミ	
10	日本・セイヨウ・アカミ	

○日本タンポポはどんな所に生えているかな？外来タンポポ（セイヨウタンポポ，アカミタンポポ）はどんな所に生えているかな？整理してみよう。

○外来タンポポが日本で増えているのはなぜだろう？生育環境や生育の仕方に注意して考えてみよう。

タンポポの見分け方

〇これって、タンポポ？



タンポポじゃない

〇これって、何タンポポ？



外来タンポポ



日本タンポポ
(カントウタンポポ)



セイヨウタンポポ



アカミタンポポ